

## New York コラム

### 第22-2号

## 米国市場における日本の家具・インテリア商品の販売促進 ～ニューヨーク国際現代家具見本市 (ICFF)

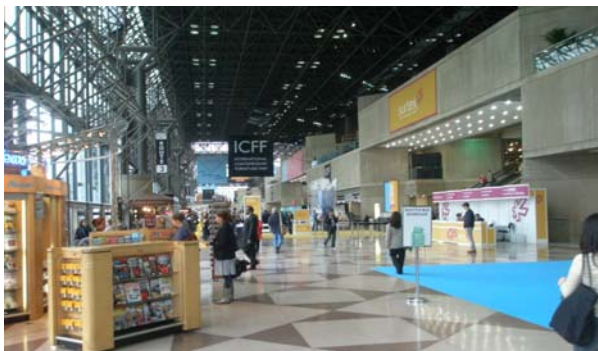
### 【22回国際現代家具見本市 (ICFF)】

米国市場での販路開拓に挑戦する日本の家具・インテリア関係の中小企業が、ニューヨーク市で開催された第22回国際現代家具見本市 (ICFF) に出展した。

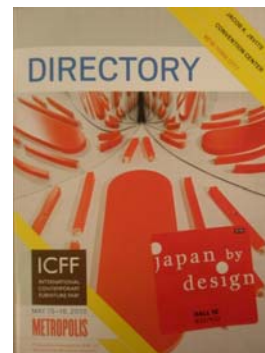
ICFFは、5月15日から5月18日までの4日間にわたってジャビッツ・コンベンションセンターで開催された。メーカーやデザイナーによる新作発表会で市内が賑わうニューヨーク・デザイン・ウィークの中核イベントである。

ICFFには、日本を含む40ヶ国から590社・団体が出展し、世界中の高品質で創造的な家具・インテリア関係の商品が集まった。小売業者、インテリアデザイナー、建築家、ホテル・レストランデザイナーなど、来場者数は2万4千人にも及んでいる。

日本貿易振興機構 (JETRO) が、信用金庫取引先を含む日本企業17社からなる「ジャパン・バイ・デザイン」ブースを設置したほか、独自出展した企業もブースを構え、デザイン性・機能性に優れた家具、照明、内装などが日系企業から多数出展された。当日来場者に配布されたICFFのパフレットには、「ジャパン・バイ・デザイン」の赤いステッカーが張り付けられるなど、日本ブースはひととき目立っていた。



見本市会場の入り口



見本市のパフレット

### 【ジャパン・バイ・デザイン】

工房壺 (本社、神奈川県) は、樹齢300年に及ぶ秋田杉の一木から、囲炉裏を組み込んだ「秋田杉焼黒一木囲炉裏テーブル」を出展し、材質のこだわりや日本を感じる独特のデザイン性などが、来場者の注目を浴びていた。同社の牛嶋代表は、同社製品に関心を持つ人々の数の多さに米国市場の厚みを感じ、出展の手ごたえを得ていた。

佐々木木工（株）（同、広島県）は、絹や金箔などの素材を特殊な技術を使い、ガラスではさんだトップを使用したテーブルを出展し、ブースに小売業者などの来場者が次々と立ち寄っていた。同社の川本代表取締役社長は、「素材やデザイン性にこだわった商品を当地のレストランなどに販売したい」と意気込みを話してくれた。



工房空の展示ブース



佐々木木工（株）の展示ブース

照明デザイナー木下裕理氏は、レストランやホテルなどに向けた自然素材を利用したデザイン性の高い照明を独自出展した。同氏は、03年にインテリア販売業、木下（株）（同、京都府）の現地法人を設立し、米国へ進出。現在は独立し、日本から和紙などの素材を調達しシアトルで製作、主に西海岸で販売している。ニューヨークをはじめとする東海岸での販売拡大を目論み、ICFFに出展した。



木下裕理氏の展示ブース

**【徳島の中小企業が「クラフツマンシップ」賞を受賞】**

片岡克仁デザイン事務所（同、徳島県）が出展した商品は、在米インテリア専門誌10誌の編集者が選定する「クラフツマンシップ」賞を受賞した。受賞対象となったのは座面に滑り止めを兼ねた渦巻きを彫ったサイドテーブルとしても利用できる椅子で、木の素材の温かみと、均一な渦がコンテンポラリーなテイストを醸し出すユニークなデザインである。

## 【おわりに】

米国市場の販路開拓に挑戦と言っても、地域および所得層によって消費者のニーズは多様である。日本市場では、大量生産の低価格家具が席卷しているが、米国は高所得者層が厚く、そうした大量生産品に飽き足らない消費者も多い。当地ニューヨークは、全米の中でも特に高所得者が多く、自分の価値観に合致した商品には、相応の対価を払うことを厭わないという本物志向、品質重視の人が多く、見本市でも高額・高品質な商品への関心は高かった。

当地では、日本食ブームが一層深化し浸透してきていることや、エコブームで自然素材への注目が集まっており、和のテイストを活かしたインテリア関連商品への引き合いも高まっている。手造で、稀少性の高い製品は日本の中小企業にとっても競争力のある分野ではないだろうか。日本からの出展企業各社は、見本市で開拓した業界関係者とのつながりを利用し、オリジナリティ高い、自社の商品の販売に手ごたえを掴んだようだ。

以 上

執筆：信金中央金庫 ニューヨーク駐在員事務所 (2010.5.25)
------------------------------------

(文中意見にわたる部分は筆者の個人的意見であり、必ずしも信金中央金庫の見解を反映させたものではありません。本レポートは、掲載時点における情報提供を目的としています。したがって施策実施・投資等についてはご自身の判断によってください。また、本稿は、執筆者が信頼できると考える各種データ等にもとづき作成していますが、当事務所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は、予告なしに変更することがありますのでご注意ください。)

信金中央金庫 ニューヨーク駐在員事務所 TEL (国番号1) -212-642-4700